

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	教育原理		教員氏名	松浦浩樹		
科目ナンバー	II-5-3					
学年	2年		開講学期	後期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭	14年	
テーマ	これまでの学びを振り返りつつ、乳幼児期にふさわしい教育の考え方を再構築する。					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。					
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				○
授業の概要	<p>教育・保育とは何か、その根本的な理解を深めつつ、子どもを、そして子どもの発達をどのように捉えたら良いだろうか。実習を含めたこれまでの学びを振り返りつつ、大人(教師・保育者・保護者)の役割とは何か、現代の子どもの置かれている社会状況・環境の実態を踏まえ、問いを深めるため、プレゼンテーションやディスカッションをしながら授業を展開する。また実習を経験し、保育者として働くことを目前とした者として、教育の責任・教育の意味を再構築する。</p>					
授業の到達目標	1.教育・保育の実践の場が目まぐるしく変化してゆく中で、「変わっていく」その状況を把握しつつ、「変わらぬもの」として重視しなければならないこととは何かを説明できる					
	2.「子どもの側に立つ」「子どもの実情に即する」ことがどういうことであるのかを学びながら、教育観、人間観、保育観、発達観に即して実践できる					
	3.アクティブラーニング(ディスカッション)の場での討論に積極的に参加することやプレゼンテーションの準備をする中で自らの「教育」に応用できる。					
テキスト	北野幸子 編著 シードブック『子どもの教育原理』 建帛社					
参考書	幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針					
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・筆記試験	0	実施しない			
	授業内課題・発表等	90	課題の提示と提出確認・毎要確認はGoogleClassroomにて、3回行う【レポート・グループワーク(20%)】。授業内小テスト1回 まとめワーク1回(2回分70%)、取り組み意欲(10%)を総合的に評価する。			
	参加度・学習態度等	10	取り組み意欲(10%):アクティブラーニング時など			
	その他					
再試験	行わない	行なわない場合の理由	教育に対する概念構成を13回の授業を通じて再構築するのが目的であり、また上記の通り試験を行わないため、13回目までにその目的が達成できていない場合は、再学習に努める必要があるため。			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	教育と保育(1) 授業概要の説明(オリエンテーション)	
	授業外学習	生活習慣ワークシート	210分
第2回	テーマ 内容	教育と保育(2) 現代における教育の意味、人格を形成すると言うことの意味と子どもに即した保育、教育とは何かを学び取る	
	授業外学習	新聞ワークシート5枚	210分
第3回	テーマ 内容	教育と保育、その目的 現代の諸問題に触れながら、保育と教育が現代社会に貢献できることは何かを考察	
	授業外学習	前回の課題(新聞ワークシート5枚)と講義内容を関連させて、レポート作成	210分
第4回	テーマ 内容	子ども理解とは(幼稚園の実際・ビデオ視聴) 子どもの存在を受け止めることと育てることの相関をグループディスカッションを通して理解する	
	授業外学習	現代の子どもの諸問題から子ども理解への学びについて (Google Class)配信された課題シート1に沿ってレポートする	210分
第5回	テーマ 内容	子ども観(児童観)の理解 子どもの存在がどのように受け止められてきたのかその歴史と変遷を学ぶ	
	授業外学習	子ども理解から子ども観の学びに沿って (Google Class)配信された課題シート2をレポートする	210分
第6回	テーマ 内容	発達に即した教育内容(保育内容)と「生きる力」を育てること 子どもの発達に即した教育的配慮とは何か、「子ども」にとって「生きる力」とは何か 地域・家庭教育の連携と共に考察する	
	授業外学習	子どもの発達について(Google Class)配信された課題シート3に沿ってレポートする	210分
第7回	テーマ 内容	遊びと学びの相関関係(1) 子どもの遊びとは何か、子どもが学ぶと言うことはどういうことかを考える	
	授業外学習	遊び振り返りシート作成 提出	210分
第8回	テーマ 内容	遊びと学びの相関関係(2) 子どもの遊びとは何か、子どもが学ぶと言うことはどういうことかを考える	
	授業外学習	第11～12回保育・教育の現状と課題(1) プレゼンテーションとディスカッションの準備	210分
第9回	テーマ 内容	学び続ける教育者(保育者) 子どもの発達・育ちを支える教師(保育者)に求められる資質を学び、自己省察を通じて「学び続ける」 姿勢をもった保育者像の育成を目指す	
	授業外学習	第11～12回保育・教育の現状と課題(1) プレゼンテーションとディスカッションの準備	210分

第10回	テーマ 内容	保育・教育の現状と課題(1) AL:プレゼンテーションとディスカッション 子育ての現状や課題を知り、これからの保育・教育の展望を探る。また「子ども園」構想における幼児期の「教育」の意味とその位置付けを考察する。	
	授業外学習	グループディスカッションの内容の考察シート作成 課題シート4(Google Class)配信 提出	210分
第11回	テーマ 内容	保育・教育の現状と課題(2) AL:プレゼンテーションとディスカッション 子育ての現状や課題を知り、これからの保育・教育の展望を探る。また「子ども園」構想における幼児期の「教育」の意味とその位置付けを考察する。	
	授業外学習	全体発表から示唆されたことを、(Google Class)配信された課題シート5に沿って今後の学修自己課題と関連させて考察する。 課題シート5提出	210分
第12回	テーマ 内容	幼児教育の思想と展開 保育、教育の思想家と歴史から幼児教育・保育の原理を学び、現代の課題を見出す	
	授業外学習	海外の保育や教育の思想が、どのように日本の教育・保育思想にどのように浸透し、現在の教育・保育現場にどのように影響していたかをまとめ、自己課題を明確にする。	210分
第13回	テーマ 内容	まとめ 学んだことを手掛かりに、保育・教育に携わる者としての学びの課題を明確にする。	
	授業外学習	これまでの授業で学んだことを総まとめする。	210分

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックも上記:双方向型学習に準ずる。また課題に直接コメントを記入する。AL時の取り組みを撮影し、動画省察を行う。